

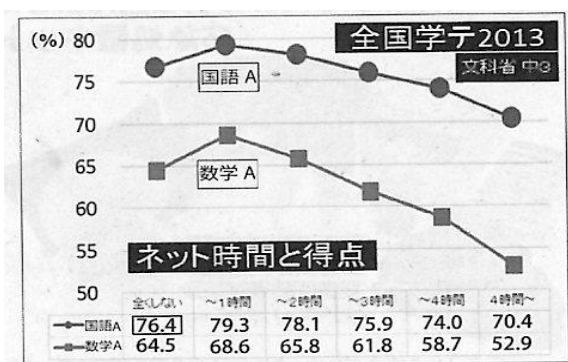


「1 時間でやめられる子」

校長 五十嵐誠一

何らかの形で自分専用のネット端末（スマートフォン・タブレット・ゲーム機）を持っており、比較的自由にネット環境を使える子どもは本校でもかなりの割合になっています。ネットの利用は今やほとんどの子どもにとって生活の一部です。

多くの学力調査では同時に生活習慣の調査が行われ、学力との相関が示されます。古いデータで恐縮ですが、下のグラフは兵庫県立大学准教授、竹内和雄氏が全国学力調査からネット利用時間と学力の相関をグラフ化したものです。



データは中学生のものですが、ネットの使用時間が長くなるほど学力が低くなる事が明瞭に示されています。なお、これ以後毎年の調査でも同様の傾向が見られます。（※世界的にも同様の傾向があります。）

ただ、私がこのグラフで注目したのは最も成績が良いグループです。国語でも数学でも最も成績が良いグループのネット使用時間は0ではなく、1時間未満です。これは何を意味しているでしょう？私は次のように考えます。

一番成績の良い子は『1時間しか使わない子』ではなく『1時間でやめられる子』である。

つまり、自律して自分の時間を自分自身でコントロールできるような子どもが結局勉強もできる、ということです。

ネット利用については社会問題となるほど強い依存性が指摘されています。また、双方向性があるネットの利用はテレビのように一方的なメディアに比べて子どもの脳や発達に大きな影響を与えることも多くの研究で明らかになっています。子どもの将来を考え、ネットの利用について大人が責任をもってその危険性や長期的な影響を繰り返し伝え、指導することはもちろん必要です。そして何より小学生の場合、睡眠の時間なども含め、家庭での生活時間を適切にコントロールすることは絶対に必要であり、家庭の責任であると思います。

しかし、それだけでは現代のネット時代を生きていく子どもの力としては不十分です。やはり自律的な自己コントロールができる力が必要です。

様々なメディアや楽しみが溢れる現代にあって、この自律的な自己コントロール力はまさに子供たちにとっては「より良く生きるために必須の力」と言えます。

例えば、小さな子どもでも自分で決めた約束については責任をもたせるなど、この「自律する力」を育てる場面はたくさんあると思います。やさしいことではありませんが、これこそ私たち親や教師の役目です。日常の生活や学習の中で「1時間でやめることのできる力」を育ていかねばならないと思います。

10月の行事予定

登校時間 8時15分～8時25分

10月の生活目標

みんなで使うものを大切にしよう

10月			
1 (火)	都民の日 安全指導 2年生活科校外学習 1～3年4時間授業13:25下校 4～6年5時間授業14:35下校 SC	17 (木)	
2 (水)	全校朝会 避難訓練 1～3年4時間授業13:10下校 4～6年5時間授業14:15下校	18 (金)	全学年4時間授業13:10下校 研究授業 4-1、6-1、6-2、6-3 14:15下校
3 (木)	1～3年4時間授業13:25下校 4～6年5時間授業 14:35下校 5年社会科見学15:50下校	19 (土)	
4 (金)	1～3年4時間授業 1～3年昼休みなし・掃除あり13:25下校 4～6年昼休みあり・掃除あり 14:35下校	20 (日)	
5 (土)		21 (月)	運動会特別時程始
6 (日)		22 (火)	就学時健診 全学年4時間授業13:00下校 会場準備担当児童13:30頃下校 SC
7 (月)		23 (水)	音楽朝会 4～6年クラブ活動15:05下校
8 (火)		24 (木)	4年多摩六都科学館見学
9 (水)	全校朝会 5年笑顔と学びのプロジェクト 2～6年14:15下校	25 (金)	秋の読書週間終 第2回教材費引落とし日 6年アウトリーチコンサート
10 (木)		26 (土)	
11 (金)	前期あゆみ配布	27 (日)	
12 (土)		28 (月)	
13 (日)		29 (火)	SC
14 (月)	スポーツの日	30 (水)	全校朝会 全学年4時間授業13:00下校 研究授業 2-2 14:30頃下校
15 (火)	秋の読書週間始 2年町探検 SC	31 (木)	月曜時間割(3年は6時間授業)
16 (水)	全校朝会 委員会活動	SC: スクールカウンセラーの来校日 直通電話番号 : 468-7392	

あゆみについて <10月11日(金)配布>

前期のあゆみを10月11日(金)に配布します。4月から9月までの学習、生活の様子についてお知らせする今年度初めてのあゆみとなります。ご家庭でご覧になり、子どもたちに励ましの言葉をかけていただけたらと思います。